

9 看護局業務

(1) 看護局ミッション

地域住民の健康な生活を支え、地域に根ざし信頼される看護を提供します。

(2) 看護局ビジョン

- 1 患者さん、地域の方にとって信頼される安全で安心な医療を提供すると共に、患者さん中心の看護を探究します。
- 2 組織は人なりという考えに立ち、組織人として期待される責務を果たすという信頼関係を基盤とし、相互に人を大切にする組織運営に努めます。
- 3 組織の方針に寄与し、めざす看護を実践し、キャリア形成を主体的に行う自立した看護師の育成を目指します。

(3) 平成 28 年度 看護局目標

- 1 入院・退院支援の充実
- 2 安全で安心な看護の提供
- 3 教育体制の充実

(4) 平成 28 年度 看護局目標評価

1 入院・退院支援の充実

地域包括ケア病棟の開棟に伴う病棟再編により、各病棟の稼働ベッド数の変更が生じたが、全体の利用率は昨年度並みであり、それぞれ役割機能に応じた病床運用ができた。

今後も医師・地域医療連携室・入退院支援センターとさらなる連携を図り、入院時から積極的な退院支援に向けた看護の提供を強化していく。そのため、継続看護検討委員を中心に、実践に活かしていくことができるよう取り組んでおり、次年度に向けても継続課題である。

緊急入院患者を断らない救急受け入れをめざし、各セクションにおいて患者受け入れ体制を見直し、ベッドコントロールを行ったが、さらに円滑な運用をめざし取り組んでいく。

2 安全で安心な看護の提供

改訂された転倒転落アセスメントシートを使用し、転倒転落発生率は 2.26% で目標を達成した。

今後は、定期的な記録監査を実施し、適切な転倒転落防止対策が取られるよう看護安全委員会を主に活動する。

病棟再編に関連したインシデントについては、コミュニケーションエラーも散見された。そのため、各病棟の役割機能を理解した上でのセクション間の情報共有をすすめ、安全な運営ができるよう努めた。

3 教育体制の充実

見直された日本看護協会のクリニカルラダーと病院機構の県立病院看護師のキャリアラダーをもとに、過去 3 年間の院内研修評価を行い、次年度研修案を作成した。さらに、キャリアパスの改訂を行った。

看護の質向上に向けては人材育成や、自立した看護師の育成について各セクションで検討し、取り組みを行った。

パートナーシップ・ナーシング・システム® (PNS) の導入にむけては、昨年引き続き研修を行い準備した。

(5) 看護外来

外来では、医師・看護師・薬剤師・栄養士・臨床心理士などコメディカルが協働して患者の療養生活を支えている。その中において看護師も、専門的知識・技術を活かした看護外来を開設し看護ケアを行っている。フットケア外来では、糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師が糖尿病患者の足病変に対するケアを行い、糖尿病一日教室でもフットケアを実施している。禁煙外来ではカウンセリングを行い、患者が禁煙に立ち向かえるよう支援している。また、皮膚排泄ケア認定看護師による相談室を開設し、日常生活に合わせたケアの方法などを患者家族と共に考え、専門的できめ細やかな指導を行っている。

一方、助産師は院内助産の実施に伴い、満足度の高いお産ができることを目的とした妊婦健診と保健指導（助産師外来）や母乳育児の支援として母乳育児外来や相談業務を行い、出産前から後まで継続した支援を行っている。

区分 年度	糖尿病 1 日教室	禁煙外来	フットケア外来	ストーマ外来	がん化学療法 相談室
26 年度	18	78	45	204	35
27 年度	15	95	28	184	7
28 年度	15	86	2	91	—

産科の指導等業務

区分 年度	助産師 外来	ペア クラス	母乳育児 外来	おっぱい大 好き倶楽部	産後育児支援 のための電話 訪問	電話相談	合計
26年度	1,130	304	231	15（組）	130	236	2,046
27年度	969	252	151	10（組）	91	144	1,617
28年度	707	178	138	19（組）	66	125	1,233

*電話相談以外は、すべて有料で3A病棟が担当

平成 28 年度 院内研修実績

ステップ	研修名	目的	方法	研修日	人数
採用時研修	新採用看護職員 採用時研修	1. 当院の概要を知り、組織・環境・業務に早期に適応できる。 2. 社会人として専門職業人としての自覚を培う。 3. 安全な看護実践のための具体的な方法がわかる。	講義・演習 GW	4 月 1 日(火)～ 4 月 18 日(金)	23
	転入 看護職員研修	1. 当院の概要を知り、組織・環境・業務に早期に適応できる。 2. 安全な看護実践のための具体的な方法がわかる。	随時		—
	中途採用 看護職員研修				5
	看護技術	安全な看護を実践するために必要な基礎知識と技術を習得する	演習	5 月 23 日(月)	9
ステップⅠ	看護過程Ⅰ	V. ヘンダーソンの看護論を理解し、看護過程に必要なアセスメント能力を養う。	GW	9 月 1 日(木)	10
	教育研修Ⅰ (フォローアップ)	3ヶ月間の体験を振り返り、気持ちをリフレッシュし、今後への意欲が持てる。	GW	6 月 14 日(火)	8
	看護研究Ⅰ	看護の質向上に向けた研究的視点を養う	個別指導	—	
	リーダーシップⅠ	チームナースィングにおける、メンバーとしての役割を発揮するために必要な能力を養う。	講義・GW	10 月 4 日(木) 12 月 13 日(火)	10
ステップⅡ	看護過程Ⅱ	ヘンダーソンの看護理論を活用し、実践を通して看護過程の展開能力を養う。	講義 発表会	5 月 27 日(金) 9 月 30 日(月)	10
	教育研修Ⅱ (初めての後輩育成)	新人看護師の特性を理解し、新人看護師の支援者としての役割を理解する。	講義 GW	6 月 20 日(月) 10 月 24 日(木)	11
	看護研究Ⅱ	看護の質向上に向けた研究的視点を養う	個別指導	2	
	リーダーシップⅡ	チームリーダーの役割を通して、チームナースィングにおけるメンバーシップを発揮する能力を養う。	GW	12 月 5 日(月)	9
ステップⅢ	看護過程Ⅲ	自己の実践した看護を客観的に見つめ、看護実践能力を養う。	発表会	9 月 6 日(火) 12 月 6 日(火)	6
	教育研修Ⅲ (後輩育成指導)	後輩育成指導を通して、教育的視点を理解する。	講義 GW	6 月 2 日(木) 9 月 29 日(木)	7
	看護研究Ⅲ	看護の質向上に向けた研究的視点を養う。	個別指導	5	
	リーダーシップⅢ	セクションにおける問題解決の過程を実践し、リーダーシップ能力を養う。	講義 GW 発表会	10 月 3 日(月) 10 月 30 日(月)	7
	看護倫理	看護実践における倫理的課題を理解し、その解決に向けた行動がとれる。	機構本部研修 専門コースⅡ で振替	—	
ステップⅣ	看護過程Ⅳ	既存の看護理論を活用し、看護実践して自己の看護を深める。	講義・実践 発表会	5 月 17 日(火) 12 月 6 日(火)	1
	教育研修Ⅳ	教育的な視点をもってスタッフ教育ができる。	講義 GW	—	
	看護研究Ⅳ	看護の質向上に向けた研究的視点を養う。	個別指導	1	
	リーダーシップⅣ	組織の目標達成に向けて、問題解決の過程を実践し、看護管理に必要な能力を養う。	機構本部研修 管理コースⅡ で振替	—	

ステップ	研修名	目的	方法	研修日	人数
ステップV	看護研究V	看護の質向上に向けた研究的視点を養う。	講義 院外発表		—
	リーダーシップV	組織の目標達成に向けて、問題解決の過程を実践し、看護管理に必要な能力を養う。	実践 発表会		—
	新主任研修	主任看護師としての役割を知り、組織における自身のあり方を考える。	講義	5月27日(月)	6
	パートナーシップ・マインド研修	PNSの意義・効果について理解し、パートナーシップ・マインドを育む。	講義・ ロールプレイ	5月13 (金) 5月20 (金) 5月27 (金) 6月 3 (金)	222

オープンセミナー

研修名	研修内容	講師	日時	参加人数
摂食嚥下障害と姿勢調整	摂食嚥下障害について、姿勢調整の重要性を伝えながら、演習を踏まえた実践的な学習をしていきます。	宮野維子 (摂食・嚥下障害看護認定看護師)	平成28年 7月1日(金) 18:00～19:00	29
糖尿病看護の実際 ～認知機能低下を伴う 糖尿病患者のケア～	認知機能低下を伴う糖尿病患者ケアの実際を事例を交えて学習します。	大澤照美 (糖尿病看護認定看護師、 認知症ケア専門士)	平成28年 7月8日(金) 18:00～19:30	28
がんの痛みを考えよう ～基礎知識編～	がん性疼痛緩和の基本的知識を学びます。	善波いづみ 香川仁美 丸岡陽子 (がん性疼痛看護認定看護師)	平成28年 7月22日(金) 18:00～19:00	9
がんの痛みを考えよう ～実践編～	事例検討を行い、実践に活かす学習をします。	善波いづみ 香川仁美 丸岡陽子 (がん性疼痛看護認定看護師)	平成28年 8月12日(金) 18:00～19:30	8
ともに感じてみよう!! 『家族看護のおもしろさ ～実践編～』	渡辺式家族アセスメントモデルを用いて、参加者と共に事例検討を行います。	櫻井大輔 (家族支援専門看護師)	平成28年 8月26日(金) 18:00～19:30	25
緩和ケアとは? ～高齢者の緩和ケアについて 学ぼう～	緩和ケアの基本を学び、高齢者の緩和ケアについて一緒に考えながら、学習していきます。	曾我輝之 山口ひろみ 桐生光代 (緩和ケア認定看護師)	平成28年 9月9日(金) 18:00～19:30	23
ストーマケア ～基礎編～	消化管ストーマの分類から、ストーマ装具交換の手技について学びます。	高橋佳織 (皮膚・排泄ケア認定看護師)	平成28年 9月23日(金) 18:00～19:30	15
緩和ケアとしての代替補完療法 ～アロマセラピーの基礎知識～	緩和ケアの代替補完療法として、アロマセラピーを実践するための基礎知識・技術を学びます。	桐生光代 山口ひろみ 曾我輝之 (緩和ケア認定看護師)	平成28年 9月30日(金) 18:00～19:30	11
ストーマケア ～装具選択の考え方と スキントラブル時の対応～	排泄物の漏れがおこらないように、事例を通して装具選択を考えていきます。	高橋佳織 (皮膚・排泄ケア認定看護師)	平成28年 10月14日(金) 18:00～19:30	7
感染性腸炎について	感染性腸炎対策について、エビデンスベースの知識・技術を学習していきます。	遠藤泰子 (感染管理認定看護師)	平成28年 11月4日(金) 18:00～19:00	34

平成 28 年度 学会・院外研修参加実績

<学会>

学 会 名 (分 野)	開催地	開 催 日	人数
日本看護学会 学術集会 急性期看護	沖縄	7 月 15,16 日	1
日本看護学会 学術集会 看護教育	滋賀	8 月 4,5 日	1
日本看護学会 学術集会 慢性期看護	鳥取	11 月 10,11 日	1
第 12 回日本クリティカルケア看護学会 学術集会	栃木	6 月 4,5 日	1
第 21 回日本緩和医療学会学術大会	京都	6 月 17,18 日	1
日本老年看護学会第 21 回学術集会	埼玉	7 月 23,24 日	1
第 20 回日本看護管理学会学術集会	神奈川	8 月 19,20 日	1
第 22 回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	新潟	9 月 23,24 日	1
第 40 回日本死の臨床研究会年次大会	北海道	10 月 8,9 日	1
第 30 回日本手術看護学会年次大会	宮城	10 月 14,15 日	1
第 22 回日本集団災害医学会総会	愛知	29 年 2 月 13～15 日	1
第 44 回日本集中治療医学会学術集会	北海道	29 年 3 月 9～11 日	1

<長期研修派遣>

受 講 分 野	開 催 期 間	人数
静岡県立静岡がんセンター 認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケア分野	8 月 2 日～平成 29 年 3 月 10 日	1

<神奈川県立病院機構 看護職員研修>

コース名	開 催 日	会 場	人数
専門コースⅠ	7 月 9 日,9 月 12 日	神奈川県立がんセンター 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	3
専門コースⅡ	7 月 26 日,10 月 27 日	神奈川県立病院機構本部	7
管理コースⅠ	6 月 13 日	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	1
管理コースⅡ	6 月 20 日,11 月 28 日	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 神奈川県立病院機構本部	2
管理コースⅢ	7 月 21 日,29 年 1 月 27 日	神奈川県立病院機構本部	2
ICT を活用したデータ分析、可視化と PNS®	11 月 21 日	神奈川県立病院機構本部	6

＜神奈川県看護協会＞

会場：神奈川県ナースセンターまたはキャリア支援研修センター藤沢

研 修 名	開 催 日	人数
災害支援ナースフォローアップ研修	5 月 24 日	1
はじめて学ぶ KYT ～高めようリスクセンス～	6 月 13 日	1
臨地実習指導者研修 ～実習生の学びを支援するために～	7 月 4,5 日	1
【インターネット配信研修／リアルタイム】 災害支援ナースの基礎知識 ～災害看護の第一歩～	7 月 6～7 日	1
PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）導入の実際	7 月 7 日	1
【インターネット配信研修／リアルタイム】 認知症高齢者の看護実践に必要な知識①	7 月 8～9 日	1
入院から行う退院支援 ～ベッドサイドから地域へ～ ①	7 月 22 日	1
災害従事者研修	7 月 28 日	1
医療安全管理者養成研修会	9 月 8,9,16,30 10 月 6,7,17 日	1
入院から行う退院支援 ～ベッドサイドから地域へ～ ②	10 月 11 日	1
新人ナースのためのフィジカルイグザミネーション・フィジカルアセスメント②	29 年 2 月 3 日	1

＜その他の研修＞

主 催	研 修 名	開 催 日	人数
福井大学医学部附属病院	パートナーシップ・ナーシング・システム（PNS）研修	6 月 6～8 日	6
日本運動器科学会	平成 28 年度前期セラピスト資格取得研修会	6 月 12 日	2
メディカルケアサポートセミナー	メディカルケアサポートセミナー in 埼玉	6 月 18 日	1
S-QUE 研究会	重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者研修	7 月 24 日	7
日本臨床看護マネジメント学会		8 月 28 日	1
神奈川県病院協会	神奈川県看護職員認知症対応力向上研修	8 月 14,17,29 日	2
全国自治体病院協議会	看護管理研修会（第 1 回）	8 月 24～26 日	1
日本老年看護学会	認知症看護対応力向上研修	9 月 3,4 日	1
日総研	入門 PNS 準備・導入・運営法	10 月 16 日	3
神奈川県立保健福祉大学	医療安全管理者養成研修	10 月～29 年 2 月 計 8 日	1
日本老年看護学会	ELNEC-JG	10 月 29,30 日	1
独立行政法人国立病院機構 東京医療センター	ユマニチュード入門コース	5 月 7,8 日	2
		7 月 23 日	3
		9 月 19 日	1
独立行政法人国立病院機構 東京医療センター	ユマニチュード施設導入コース	10 月 25～27 日	1
		11 月 25,26 日	1

平成 28 年度 施設見学等受入実績

病院見学 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

月	人数	月	人数	月	人数	月	人数
4 月	0	5 月	0	6 月	0	7 月	0
8 月	4	9 月	0	10 月	4	11 月	2
12 月	1	1 月	1	2 月	1	3 月	0

計 13 名

インターンシップ (平成 29 年 3 月 31 日現在)

	実施日	人数	参加者所属学校
第 1 回	4 月 16 日	8	神奈川県立よこはま看護専門学校 神奈川県立平塚看護専門学校 神奈川県立保健福祉大学 静岡県立東部看護専門学校 国際医療福祉大学
第 2 回	6 月 4 日	13	神奈川県立よこはま看護専門学校 神奈川県立平塚看護専門学校 国際医療福祉大学
第 3 回	8 月 5 日	19	神奈川県立よこはま看護専門学校 神奈川県立平塚看護専門学校 国際医療福祉大学 小田原高等看護専門学校 湘南平塚看護専門学校 厚木看護専門学校 積善会看護専門学校 母子保健研修センター助産師学校
第 4 回	3 月 23 日	11	神奈川県立保健福祉大学 神奈川県立よこはま看護専門学校 神奈川県立平塚看護専門学校
第 5 回	3 月 28 日	15	神奈川県立保健福祉大学 国際医療福祉大学 帝京平成大学 神奈川県立よこはま看護専門学校 神奈川県立平塚看護専門学校 小田原高等看護専門学校

全 6 回中 5 回開催、66 名参加

職業体験 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

	実施日	人数	対象
第 1 回	7 月 25 日	24	高校生、保護者、高校教員
第 2 回	7 月 26 日	8	高校生

平成28年度看護学実習受入実績

毎月の月曜と、月曜以外の実習開始日を表示しています。実習セッションが複数にまたがる場合があるため実人数は合致していません。

学校名			毎月1日の曜日と、月曜以外の休日の開始日を表しています。休日はナゾの数字に○がついた曜日の数字は日数しています。																													
			5月					6月					7月					8月					9月									
			9月	16月	19月	23月	30月	6月	8月	9月	13月	14月	20月	27月	28月	29月	4月	5月	11月	18月	25月	1月	8月	15月	22月	29月	30月	5月	12月	19月	20月	21月
			月	月	木	月	月	月	水	木	月	火	月	火	水	月	火	月	月	月	月	月	月	月	火	月	月	月	火	水	月	
県立平塚看護専門学校	3年課程3年次	在宅看護論	人数			3				4					4																2	
			日数			2				2						2															2	
県立平塚看護専門学校	3年課程2年次	老年看護学Ⅰ	人数															10														
			日数																12													
県立平塚看護専門学校	3年課程2年次	成人看護学Ⅰ	人数																													
			日数																													
県立平塚看護専門学校	3年課程2年次	成人看護学Ⅱ	人数																													
			日数																													
県立平塚看護専門学校	3年課程1年次	基礎看護学Ⅰ	人数									10															10					
			日数										2														4					
県立よこはま看護専門学校	3年課程1年次	基礎看護学Ⅰ	人数																									7				
			日数																									5				
小田原看護専門学校	看護学科3年次	老年看護学	人数	6							6																					
			日数	10							10																					
小田原看護専門学校	看護学科3年次	統合	人数																													
			日数																													
小田原看護専門学校	看護学科2年次	母子看護	人数																													
			日数																													
静岡県立東部看護専門学校	看護1学年3年次	母性看護学	人数	5		5		5			5		5		5		4		4								5		5			4
			日数	4		8		4			8		4		4		4		8								4		8			4
小澤高等看護学院	3年課程3年次	母性看護学	人数																													
			日数																													
積善会看護専門学校	3年課程3年次	老年看護学C	人数												5											4						
			日数													12										12						
積善会看護専門学校	3年課程3年次	統合実習	人数																													
			日数																													
国際医療福祉大学小田原保健学部	4年課程4年次	成人看護学Ⅱ	人数		4											5																
			日数		13												12															
国際医療福祉大学小田原保健学部	4年課程4年次	継続看護学	人数						4							4												4				
			日数						5							5												5				
国際医療福祉大学小田原保健学部	4年課程3年次	リハビリテーション	人数																													
			日数																													
東海大学大学院		家族看護学実習Ⅱ	人数														1															
			日数																40													

病棟名(診療科目)			病床数		5月					6月							7月							8月							9月					
					9	16	19	23	30	6	8	9	13	14	20	27	28	29	4	5	11	18	25	1	8	15	22	29	30	5	12	19	20	21	26	
					月	月	木	月	月	月	水	木	月	火	月	月	火	水	月	火	月	月	月	月	月	月	月	月	火	月	月	月	火	水	月	
病棟別実習生配置状況集別実人数	2A	救急・脳神経外科・総合診療科・消化器内科・循環器内科・ICU	46(4)	人数																																
	3A	産科・婦人科・眼科・小児病床	16/37	人数		5	5	5		5	5	5	5	5					4	4									5	5	5	5				
		*産科外来 *助産師外来 *母乳育児外来		人数	5				5				5	5	5	5	4	4									5						4			
	4A	外科・整形外科・脳神経外科	46	人数		4	4	4	4								5	5	5	5																
	4B	整形外科 他 (地域包括ケア病棟)	41	人数								5						5	5	5						5	4									
	5A	総合診療科・消化器内科・循環器内科・泌尿器科	46	人数									5					5	5	5							5	3	4	4	4	4	4			
	5B	総合診療科・消化器内科・循環器内科・泌尿器科	46	人数	6	6	6					6	6	6	5	5	5	5	5	5	1					4	4	4	4					6		
	連携医療	外来	10診療科		人数				3			2	2				2	2															2			
				人数			3				2	2				2	2														2					
					人数						4	4							4	4									4							

神奈川県立足柄上病院																															学校別年間実習生															
10月							11月							12月							1月							2月							3月											
3月	7月	10月	12月	13月	17月	24月	28月	31月	7月	8月	14月	21月	28月	5月	6月	12月	19月	26月	2月	9月	12月	16月	17月	19月	23月	24月	26月	30月	31月	2月	6月	13月	20月	27月	6月	13月	20月	27月								
月	金	月	水	木	月	月	金	月	月	火	月	月	月	月	火	月	月	月	月	月	木	月	火	木	月	火	木	月	火	木	月	火	月	月	月	月	月	月	月	月	月	実人数	延人数			
		4 2					2 2																																	19	38					
																																									10	120				
											10 12																														10	120				
																															10 12										10	120				
																																									20	60				
																																									7	35	35			
6 10																																										18	180	246		
							6 11																																		6	66				
																						3 2		3 2	3 2		3 2	3 2		3 2												18	36	36		
	4 8									5 4																																61	336	336		
							4 10				5 10																																9	90	90	
																																											13	156	252	
																																										8	96			
																																											9	112	208	
																																											12	60		
																4 9																											4	36		
																																												1	40	40
																															235	1701	1701													

10月								11月					12月					1月								2月					3月				学校別年間実習生							
3	7	10	12	13	17	24	28	31	7	8	14	21	28	5	6	12	19	26	2	9	12	16	17	19	23	24	26	30	31	2	6	13	20	27	6	13	20	27	実人数	延人数		
月	金	月	水	木	月	月	金	月	月	火	月	月	月	月	火	月	月	月	月	月	木	月	火	木	月	火	木	月	火	木	月	火	月	月	月	月	月	月	月			
													2	2	2	2																								2	24	
4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5				4	4					3		3	3		3	3		3										2	346	498	
											5																												54	152		
										5	5	5	2	2	2	2																								38	196	
				3	3	3	3			5	5	5	2	2	2	2															5	5	5						16	287		
				3	3	3	3						2	2	2	2															5	5	5						34	270		
6	6																																						32	328		
	2	2						2																																28	19	
	2	2					2																																19	19	79	
																																							19	60		
																																								254	1701	1701

10 各種活動報告

(1) 感染症対策会議（感染管理室）活動報告

1. 感染防止対策加算 1・地域連携加算について

感染防止対策加算 1・地域連携加算を継続取得。感染防止対策加算 1 では、陽風会高台病院・財団報徳会西湘病院、温知会間中病院と連携した。感染防止対策地域連携加算では、神奈川県病院機構のこども医療センターを評価し、神奈川リハビリテーション病院による評価を受けた。感染防止対策地域連携加算相互評価の総合評価「A:適切に行われている」であった。

開催日	議題
第 1 回（合同カンファレンス） 平成 28 年 5 月 12 日	昨年度の評価 今年度の計画 情報交換 耐性菌検出状況 抗菌薬使用状況
第 2 回（合同カンファレンス） 平成 28 年 9 月 8 日	自施設のラウンド結果より検討 インフルエンザ対策 ノロウイルス対策 情報交換 抗菌薬・耐性菌情報
第 3 回（合同カンファレンス） 平成 28 年 11 月 10 日	自施設のラウンド結果より検討 インフルエンザ対策 ノロウイルス対策 抗菌薬・耐性菌情報 情報交換
第 4 回（合同カンファレンス） 平成 29 年 2 月 4 日	インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症情報 抗菌薬・耐性菌情報 今年度の評価と次年度の計画
相互ラウンド 平成 28 年 7 月 12 日	相互評価、地域連携加算チェック項目に沿って施設視察を実施 評価対象医療機関：足柄上病院 評価者：神奈川リハビリテーション病院
相互ラウンド 平成 28 年 10 月 13 日	相互評価、地域連携加算チェック項目に沿って施設視察を実施 評価対象医療機関：神奈川県立こども医療センター 評価者：足柄上病院

2. 神奈川県立病院感染防止対策会議（4 回実施／年）

神奈川県保健福祉局保健医療部県立病院課担当、県立病院機構本部職員と 7 病院（当院・こども医療センター・精神医療センター・がんセンター・循環器呼吸器病センター・神奈川リハビリテーション病院・七沢リハビリテーション病院脳血管センター）の感染担当で、感染防止対策の推進に向けて情報共有、感染に関する教育の検討などを行った。

開催日	議題
平成 28 年 6 月 1 日	感染防止対策の取組事例及び感染症の発生状況に関する情報交換 感染防止対策に係わる教育に関する取り組み 感染防止対策に係る病院連携について
平成 28 年 10 月 5 日	感染防止対策の取組事例及び感染症の発生状況に関する情報交換 感染防止対策に係わる教育に関する取り組み 感染防止対策に係る病院連携について
平成 28 年 12 月 7 日	感染防止対策の取組事例及び感染症の発生状況に関する情報交換 感染防止対策に係わる教育に関する取り組み 新型インフルエンザ等対策訓練について
平成 29 年 2 月 8 日	感染防止対策の取組事例及び感染症の発生状況に関する情報交換 感染防止対策に係わる教育に関する取り組み 感染防止対策に係る病院連携について

3. 感染症対策会議（12 回実施／年）

感染症の防止、発生時の措置等（感染症対策）及び感染症対策を推進する組織に関し必要な事項を定める会議である。以下の内容について検討し、当院の方針を決定した。

開催日	議題	
H28 年 4 月 28 日	H27 年度評価、H28 年度の活動計画 季節性インフルエンザ対策について	毎回 ICT ミーティン グ報告（血液培 養・耐性菌・抗菌 薬の適正使用） 感染症便り検討 看護感染対策会 議活動報告
H28 年 5 月 26 日	研修計画について マニュアル（デング熱・ジカ熱・SARS）	
H28 年 6 月 23 日	抗菌薬使用届けについて 感染症発生報告書について 相互ラウンドについて	
H28 年 7 月 28 日	インフルエンザワクチンについて 相互ラウンド評価について	
H28 年 8 月	書面会議：針刺し・切創報告 マニュアル（廃棄物） 自動尿量測定器	
H28 年 9 月 24 日	機構本部監査について 新型インフルエンザ等実働訓練について	
H28 年 10 月 22 日	感染防止対策加算（地域連携加算）に基づく相互ラウンド報告 新型インフルエンザ等実働訓練について マニュアル（感染性廃棄物他）	
H28 年 11 月 26 日	職員インフルエンザワクチン接種結果 インフルエンザ発生報告と対策 抗菌薬ガイドラインについて 抗体価検討	
H28 年 12 月 22 日	新型インフルエンザ情報伝達訓練・新型インフルエンザ等実働訓練 年末・年始の感染対策について	
H29 年 1 月 26 日	研修レポートからの検討 環境ラウンドからの検討 マニュアル（HIV）	
H29 年 2 月 25 日	インフルエンザ発生状況と対策 機構本部会議の報告	随時 マニュアル検討 など
H29 年 3 月 26 日	季節性インフルエンザ報告 H28 年度年間評価について	

4. Infection control team（以下 ICT）ミーティング（46 回実施／年）

感染対策室長（副院長）、室長補佐（内科医師）1 名、感染症医 1 名、細菌検査技師（感染制御認定臨床微生物検査技師）1 名、薬剤師 1 名、事務職員 1 名、室員（感染管理認定看護師）1 名から構成される。毎週木曜日にミーティングを開催し、①血液培養結果②耐性菌検出③抗菌薬の適正使用及びケースラウンド、院内ラウンドを実施した。院内感染防止対策マニュアルの改訂、新型インフルエンザ等の対策、結核接触者健診などを検討し、感染症対策会議に提案した。

5. その他

- ・耐性菌サーベイランスは、感染患者割合（延べ入院患者に対する感染患者数×1000）に対して MRSA 2.00（昨年 1.47）、ESBL 2.49（昨年 1.80）であり、前年度より増加傾向であった。
- ・厚労省院内感染防止対策サーベイランス事業（JANIS）では、検査部門・全入院患者部門及び手術部位感染（SSI）部門に参加した。
- ・細菌検査総件数は年間 4741 件、血液培養は年間 1720 件であった。特に血液培養の 2 セット採取を推奨し、その結果 2 セット以上採取率は 97.2%と効果があった。

- ・季節性インフルエンザ対策は、「神奈川県インフルエンザ定点報告数」と院内の入院患者状況から面会者にサージカルマスクの着用を義務付け配布、「咳エチケット」ポスター掲示で啓蒙した。職員のインフルエンザワクチンの接種率は91%（昨年92%）、インフルエンザによる職員の就業制限は29名。入院患者の院内感染を疑う3事例あったが、アウトブレイクはなかった。
- ・結核対策では3名（前年度4名）の患者が結核と診断され、職員延べ2名に接触者健診を実施した。院内感染者はなかった。
- ・抗菌薬の適正使用に対して届出制薬剤は書類提出されており、VCM：TDMも実施できていた。
- ・「感染症便り」は13回発行し、タイムリーな情報提供に努めることができた。
- ・看護感染対策会議では、全看護職員に手洗いチェッカーによる手洗いの研修、環境ラウンド、前年度に引き続き在宅向けに作成したパンフレットの活用を推進した。
- ・研修は院内、院外に向けて実施。院内は、非常勤職員や変則勤務者などが参加できるように、DVD研修等を企画した。年間計27回の研修を実施し、受講者は延べ1,444名であった。院外は職業訓練校や中井やまゆり園など多施設で実施した。

院内研修

主な研修テーマ	参加人数
新入職者等	109
感染対策の基本・医療関連感染について	157
感染対策とその治療など	47
結核・エイズ・肝炎等の疾患について	451
洗浄・消毒・滅菌 内視鏡関連など	194
環境関連・看護業務関連から	452
インフルエンザ感染防止対策・その他	71

院外研修

施設	研修内容
神奈川県立中井やまゆり園	インフルエンザ・感染性胃腸炎
西部総合職業技術校	介護職員のための近況対応、感染症対策、ノロウイルスと感染性腸炎
救急救命士	感染対策の基本
小さき花の園	当院における感染防止上の視点からの現状と課題

(2) 医療安全推進活動報告

- 医療安全研修は、技術演習、医療機器取り扱いと管理、医療安全の制度や概要、コミュニケーションに関することを中心に研修を実施した。医療安全推進室主催の研修は延べ1168人の出席であった。全職員の92.5%（前年度+1.2%）が10ポイントの取得に至り、医療安全研修ポイント取得の定着が図れた。
- 「医療安全管理会議」「リスクマネジメント会議」を中心に事例検討、医療安全巡回、医療安全推進ニュースの発行を継続し、職員への啓蒙を推進した。特に誤嚥の事故に関する事例検討会には40人の多職種が参加、事故の背後要因と再発防止策を検討した。多職種が参加した事例検討は、部門を越えて、医療システムの危険要因を気づく場になった。
- 医療局協力のもと、「インフォームド・コンセントの方針・手順」を作成した。今後も侵襲のある検査・治療・処置の説明文書作成・活用を働きかけていく。
- 有害事象・合併症報告の対象は13項目あり、年度初めに各セクションに報告すべき内容を掲示、ポケットマニュアルにも報告すべきものとして掲載した。報告された事案について、医療の質の向上のために、症例検討会を開催する事が課題である。
- 患者確認のルールの徹底・整備。第1四半期の誤認発生件数が前年度比（+7）を各部署に情報発信し、名前確認のルールを注意喚起した。看護安全対策会議の協力で、ポスター掲示、医療安全推進ニュースでも確認の重要性を発信し誤認発生は抑えられた。
- 内服薬の誤投与防止のため、持参薬管理体制の強化を図った。昨年度作成した持参薬リーフレットを入院患者に配布、周知及び効果把握のため8月に入院患者の持参薬・お薬手帳持参の調査を実施した。予定入院の90%以上が常用薬を持参し80%がお薬手帳を持参していた。また持参薬切れに伴う処方依頼ルールが明文化されていなかったため、『医薬品安全使用のための業務に関する手順書』の持参薬マニュアルを改訂した。
- 転倒・転落に関するアセスメントツール活用と事故防止対策の実施。看護安全対策会議と連携し、転倒リスク要因に基づき転倒転落アセスメントスコアシートを改訂し、場面別の看護計画を周知した。高齢者の入院割合が高い現状から、次年度も職員全員が転倒転落予防対策に臨むようにする。
- 効果的な蘇生活動を可能にするため、救命救急部と連携し救急カート管理体制の見直しと整備を行った。またBLS・ACLの基礎的演習を4月～7月、急変時対応シミュレーションを9月～2月まで実施し、合わせて307人の参加を得た。急変時におけるDCの使い方、良質なBLS、正確な記録などの課題もあり継続した取組が必要である。
- 身体拘束による合併症防止を課題としマニュアルの見直しを行った。当院における身体拘束の方針を明確にし、身体拘束の判断のフローチャート作成、身体拘束中の記録用紙の見直しを行った。
- 離院・離棟時の対応マニュアルの実用に向け、10月から各部門に改訂したマニュアルを配布し運用、無断離院時のシミュレーションを実施した。シミュレーションから、情報伝達の効率アップ、検索効率アップが課題に上がり、情報シート内容の見直し、各セクションの検索エリアの見直しを行なった。
- 医療安全週間の開催は11年目を迎えた。一次救命処置や癌性疼痛の理解、転倒予防具や口腔ケア具の紹介など、外来患者及び患者家族また全職員を対象に参加型のイベントを企画した。医療安全についての情報共有の場になった。
- ポケットマニュアル第3版を発行した。表紙にコード5・ドクターハート、その他安全管理に関するポイント、提出を義務づけている書類、SBAR（状況：Situation 背景：Background 評価：Assessment 提案：Request）などを付け加え、全職員(540部)に配布した。
- 機構 QC活動報告会にて、26年から28年の3年間で転倒による重大事故発生件数が減少した結果を受け、転倒事故低減の取り組みについて発表した。

① 会議の開催

医療安全管理会議 毎月1回 第4金曜日 / リスクマネジメント会議 毎月1回 第3金曜日に開催

	開催日	主な検討内容
1	4月15日 ／ 4月22日	会議要綱確認. 3月分ヒヤリハット医療事故報告. 医療安全推進室目標. 今年度の活動計画検討. 医療安全研修報告. 4月医療安全推進ニュース(案)検討. 平成27年度ヒヤリハット事例医療事故・クレーム集計報告. 医療安全研修報告. 会議要綱確認. パン誤嚥に事案に関する検討
2	5月20日 ／ 5月27日	4月分ヒヤリハット医療事故報告. 医療安全週間の実施について. 各チームの活動報告(医療安全週間、転倒転落、食品アレルギー対策、薬品に関する検討、身体拘束についての検討、医療の安全と質の検証、院内急変対応の整備、講演会・報告会). 医療安全研修計画・医療安全巡回企画案検討. 5月医療安全推進ニュース(案)検討
3	6月17日 ／ 6月24日	5月分ヒヤリハット医療事故報告. 平成27年度県立病院ヒヤリハット事例及び医療事故等の公表について. パン誤嚥に関する事例報告. 各チームの活動報告. 医療安全巡回報告「禁食ピクト、食前検査ピクトが正しく行われているか」. 6月医療安全推進ニュース(案)検討. 医療事故調査制度 院内調査の流れ(案)について. 医薬品の安全使用チェックリスト集計結果.
4	7月15日 ／ 7月22日	6月分ヒヤリハット医療事故報告. パン誤嚥に関する事例報告. 各チームの活動報告. 事例検討:検査科(患者誤認による別の患者をX線撮影した事例. 7月医療安全推進ニュース(案)検討. 医療事故調査制度 院内調査の流れ(案)加筆修正について.
5	8月書面会議	7月分ヒヤリハット医療事故報告. 機構本部 第2回医療安全ワーキング報告. 各チーム活動報告. 8月医療安全推進ニュース(案)検討. 足柄上病院医療事故調査制度に関する実施要綱(7月医療安全管理会議で承認).
6	9月16日 ／ 9月23日	8月分ヒヤリハット医療事故報告. 各チームの活動報告. 事例検討:看護局下剤と止痢剤が同時に投与された事例」Im SAFER分析法. 9月医療安全推進ニュース(案)検討. 医療事故調査制度 平成27年12月2日から施行している「医療事故該当性の判断体制」に併せて形式を変え「医療安全マニュアル」に掲載.
7	10月21日 ／ 10月28日	9月分ヒヤリハット医療事故報告. 各チームの活動報告. 医療安全巡回状況報告(転倒転落に関する書類調査). 10月医療安全推進ニュース(案)検討.
8	11月18日 ／ 11月25日	10月分ヒヤリハット医療事故報告. 第2四半期ヒヤリハット事例および医療事故報告. 各チームの活動報告. 医療安全巡回集計報告(転倒転落に関する書類調査). リストバンド装着に関するアンケート結果. 11月医療安全推進ニュース(案)検討. リストバンド装着 マニュアル改訂. 平成28年度歯科口腔外科実績.
9	12月16日 ／ 12月23日	11月ヒヤリハット医療事故報告. 各チームの活動報告. 無断離院時の対応シミュレーション結果. 事例検討:検査科(心電図検査における電極取り付け違い). 12月医療安全推進ニュース(案)検討. リストバンド装着 マニュアル改訂.
10	1月20日 ／ 1月27日	12月分ヒヤリハット医療事故報告. 各チームの活動報告. 医療安全巡回企画「患者への説明書・同意書の記載に関する内部調査」. 事例検討「術後内服再開指示の薬剤を再開せず、数日経過した事例」. 1月医療安全推進ニュース(案)検討. インフォームド・コンセントに関する方針・手順(案)検討.
11	2月17日 ／ 2月24日	1月ヒヤリハット医療事故報告. 第3四半期ヒヤリハット事例及び医療事故報告. 各チームの活動報告. 第2回医療安全巡回「患者への説明書・同意書の記載に関する内部調査」報告. 2月医療安全推進ニュース(案)検討.
12	3月17日 ／ 3月24日	2月ヒヤリハット医療事故報告. 各チームの活動報告. 第2回医療安全巡回集計報告. 3月医療安全推進ニュース(案)検討. 身体拘束マニュアル(案)検討. 平成28年度の活動の評価と29年度目標検討.

② 研修活動

	研修区分	対象	内 容	開催回数	参加 延べ人数
1	医療安全研修	全職員	急変時対応シミュレーション	6	155
		全職員	輸液ポンプTE161及び輸注ポンプの取り扱い	2	24
		全職員	医療安全急変時対応 BLS研修	11	153
		全職員	人工呼吸器の取り扱い HAMILTON・C1	1	32
		全職員	危険手技の安全管理シリーズ①経鼻栄養チューブの挿入と管理	1	47
		全職員	心電図モニタ講習会	1	31
		全職員	ハミルトン勉強会 中級編	1	20
		全職員	医療安全事例検討会	1	39
		全職員	エコーガイド下中心静脈カテーテルの挿入方法	1	24
		全職員	事例検討	1	10
		全職員	危険手技の安全管理シリーズ③胸腔穿刺時の注意点・手順	1	15
		全職員	歩行、起き上がり等の介助について	1	21
		全職員	事例から学ぶコミュニケーションエラーについて	1	55
		全職員	弾性ストッキングの使用方法	2	17
		全職員	持続痛と突出痛	1	14
		全職員	アブストラク舌下錠の使い方	1	13
		全職員	水分補給のススメと低栄養対策	1	10
		全職員	転倒防止策	1	7
		全職員	医療安全週間企画（一次救命処置:AED講習）	2	11
		全職員	医療安全週間(見学感想)(各セクションの取り組み展示評価)	2	54
		全職員	医療倫理講演会	1	59
		全職員	当院における静脈血栓症予防対策	1	40
		全職員	第58回 CPC	1	26
		全職員	医薬品の安全使用について	1	6
2	医療安全研修 セクション共同開催	全職員	試食会 当院のNSTについて 褥瘡 ユマニチュード 糖尿病勉強会 オムツケア 無線LANの基礎知識 ERCP 摂食嚥下障害と姿勢調整 スキンケア 母体搬送までの一連の動き 看護補助職員研修 IABP PCPS 急変の気づき 関節可動域エクササイズ 呼吸管理とネーザルハイフロー ストーマケア THAIについて がん患者の疼痛緩和 半固形剤注入法の手引き 等	33	727
		一部対象限定 看護職員			
		研修医			
			計 33研修		
3	医療安全・感染防止研修	感染症対策委員会活動報告参照			
4	リスクマネジメント会議	会議構成員	リスクマネジメント会議の事例検討	3	49
		全職員	リスクマネジメント会議の活動報告	1	32
5	採用時研修 (オリエンテーション)	転入・新採用職員 研修医	転入・新採用職員研修医採用時研修	3	54
		中途採用	中途採用者研修	2	5
6	DVD研修	全職員	医療安全DVD視聴	25	194

③ 医療安全週間

職員の医療安全に対する意識向上と、患者の医療安全への参画をテーマに11月9日～11月18日に開催した。

地域参画を推進するため①近隣児童生徒の絵画コンクールと②来院者への医療安全広報(医療安全リーフレット配布)、参加型のイベントを企画した。参加型の企画は地域連携室から関連施設に広報を行った。地域の方を対象にAEDの使い方の講習会を開催した。参加された方から「AEDに触れる機会がないので良かった」との意見をもらった。参加は(+5) 安全な医療を共有する場でもあり地域向けの企画は必要である。

スタッフの安全意識向上を目的に、医療倫理のワークショップを開催し59人が参加した。参加型の企画では、企業展示やサテライト研修も同日に行い、延べ人数126人の出席を得た(昨年比-53)。特にサテライトの出席が(-46)であった。参加型のイベントは勤務時間帯の開催のため、参加を呼びかけることに限界もある。しかし医療安全推進の良い機会になるため、費用対効果も含め時間短縮、開催時間、内容の検討が課題である。

④ 平成28年度事故報告

神奈川県立病院においては、ヒヤリ・ハット事例及び医療事故の内容に応じて、そのレベルを以下のように設定しており、当院もそれに準じてデータをまとめた。

【用語の定義】

(1) ヒヤリ・ハット事例

日常診療の場で、患者に医療または管理を行ううえで、ヒヤリとしたり、葉とした経験を有する事例で、(2)の医療事故に至らなかったものをいう。

(2) 医療事故

医療に関わる場所で実施された医療又は管理により、予期せず患者が死亡し、もしくは患者に心身の障害が残った事例又は予期しなかった、若しくは予期していたものを上回る処置その他の治療を要した事例

(3) 分類レベル指標

区分	レベル		内 容
ヒヤリ・ハット事例	レベル0		間違ったことが発生したが、患者には実施されなかった場合
	レベル1		間違ったことが実施されたが、患者には変化が生じなかった場合
	レベル2		実施された医療又は管理により患者に予期しなかった影響を与えた可能性があり、観察の強化や検査の必要性が生じた場合
医療事故	レベル3	a	実施された医療又は管理により患者に予期しなかった軽微な処置・治療（※1）の必要が生じた場合
		b	実施された医療又は管理により、患者に予期していたものを上回る何らかの変化が生じ、濃厚な処置・治療（※2）の必要性が生じた場合
	レベル4		実施された医療又は管理により、患者の生活に影響する予期しなかった若しくは予期していたものを大きく上回る高度の後遺症が残る可能性が生じた場合
	レベル5		実施された医療又は管理により、予期せず患者が死亡した場合

※1 薬剤投与等の保存的治療

※2 バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術等

ア 全体報告数（表1 図1）

リスク感性の向上と報告の透明性を維持するため、レベル0（未然に防げた）と1（患者に影響が無かった）の報告増加とレベル2（患者に影響を及ぼした可能性）以上の報告減少を目標としている。

レベル0の報告件数は221件から216件に減少、レベル1の報告は960件から1,033件に増加、全体の報告数は増加した。ドレーンチューブ・薬剤のエラーは、複数の報告から確認不備の共通したエラー要因があり、指差し呼称の徹底、ルートを開始から終点までたどる、機器の作動状況など【確認】に関して注意喚起した。また「栄養剤の誤配膳から個人別トレイの使用」「薬剤の経管栄養チューブ閉塞事案から閉塞リスクの低い薬剤の採用」「高齢者の術後食の採用」のシステム改善に繋げた。職種別報告数の構成比が、機構全体の職種別平均値より低い職種は、個々が体験した軽微なヒヤリハット事例を積極的に報告するように働きかける。引き続き報告する文化を啓蒙していく。

表1 インシデント・アクシデント年度別報告数

区分		レベル	26 年度		27 年度		28 年度		
ヒヤリ・ハット事例		0	242	1, 374	221	1, 181	216	1, 249	
		1	1, 132		960		1, 033		
	医療事故		2	216	234	163	184	214	235
			3a	16		20		21	
		3b	2	1		0			
		4	0	0		0			
		5	0	0		0			
合 計			1, 608		1, 365		1, 484		
レベル2 以上発生率※1			14. 6%		13. 5%		15. 80%		
入院に おける 報告	全発生率 % ※2		1. 76%		1. 48%		2. 00%		
	レベル0.1 発生率% ※3		1. 50%		1. 28%		1. 70%		
	レベル2 以上発生率‰ ※4		2. 68‰		2. 48‰		3. 16‰		

※1 アクシデント数／全体数

※2 入院分報告総数／延べ入院患者数

※3 入院分インシデント数／延べ入院患者数

※4 入院分アクシデント数／延べ入院患者数

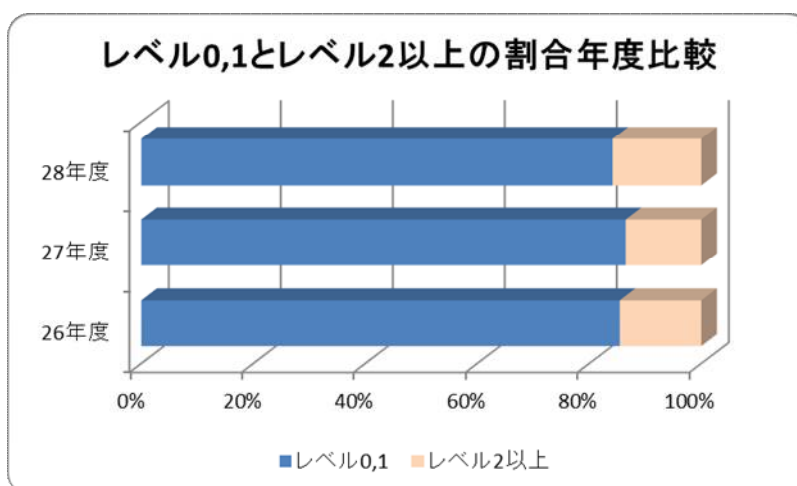


図1 レベル0,1（インシデント）とレベル2以上（アクシデント）の割合年度比較

イ 事象別事故報告（表2、図2）

上位4項目は例年と同様でドレーン・チューブ類に関するもの415件（+125件）28.0%が最も報告が多く、2位：内服薬251件（-38件）16.9%、3位：転倒・転落で177件（+14件）11.9%、4位：注射162件（+5件）10.9%であった。

表2 事象別事故報告件数

事象	①平成28年度		②平成27年度		①－② 件数
	件数	構成比	件数	構成比	
指示・情報伝達	56	3.8%	57	4.2%	-1
薬剤(処方・与薬・調剤・製剤管理)	452	30.5%	461	33.8%	-9
注射・点滴	162	10.9%	157	11.5%	5
内服薬	251	16.9%	289	21.2%	-38
その他	39	2.6%	15	1.1%	24
輸血	7	0.5%	13	1.0%	-6
治療・処置・診察	81	5.5%	55	4.0%	26
手術	29	2.0%	26	1.9%	3
麻酔	3	0.2%	4	0.3%	-1
その他治療	1	0.1%	4	0.3%	-3
処置	47	3.2%	15	1.1%	32
診察	1	0.1%	6	0.4%	-5
医療用具(機器)使用管理	24	1.6%	22	1.6%	2
ドレーン・チューブ類使用・管理	415	28.0%	290	21.2%	125
検 査	104	7.0%	121	8.9%	-17
療養上の場面	312	21.0%	305	22.3%	7
転倒・転落	177	11.9%	164	12.0%	13
給食・栄養	41	2.8%	51	3.7%	-10
その他	94	6.3%	90	6.6%	4
その他	33	2.2%	41	3.0%	-8
合 計	1,484	100.0%	1,365	100.0%	119

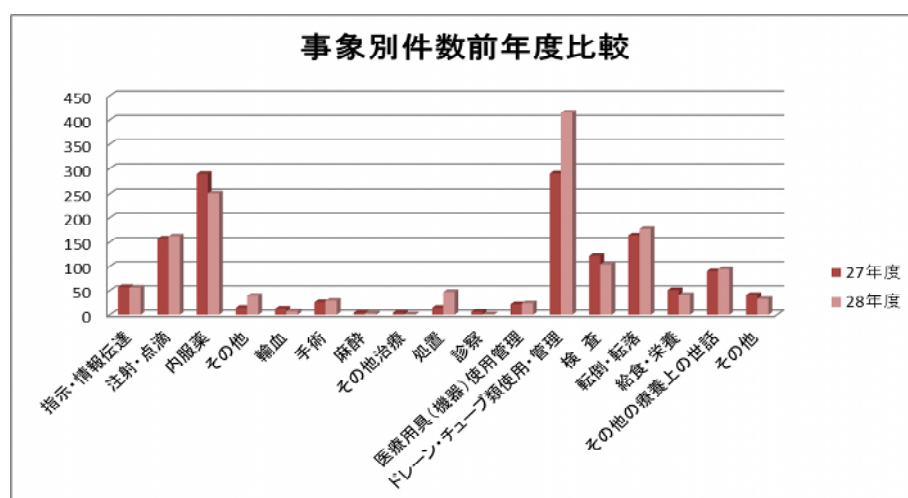


図2 事象別件数 前年度比

ウ 時間帯別事故割合（表3、図3）

時間帯別では、16～17 時台、次いで 10～11 時台、12～13 時台と勤務交代時間や検査・処置、食事時間の移乗や与薬が重なる時間である。また夜間帯の報告件数も一定の割合で継続し、点滴の自己抜去や排泄行為等に伴う転倒転落が事象の大半を占めている。

表3 時間帯別事故割合

発生時間帯	①平成28年度		②平成27年度		①－② 件数
	件 数	構成比	件 数	構成比	
0～1時台	79	5.3%	72	5.3%	7
2～3時台	61	4.1%	48	3.5%	13
4～5時台	58	3.9%	61	4.5%	-3
6～7時台	86	5.8%	100	7.3%	-14
8～9時台	147	9.9%	143	10.5%	4
10～11時台	190	12.8%	168	12.3%	22
12～13時台	172	11.6%	162	11.9%	10
14～15時台	159	10.7%	129	9.5%	30
16～17時台	196	13.2%	148	10.8%	48
18～19時台	129	8.7%	130	9.5%	-1
20～21時台	75	5.1%	87	6.4%	-12
22～23時台	83	5.6%	61	4.5%	22
その他(時間帯不明等)	49	3.3%	56	4.1%	-7
合 計	1,484	100.0%	1,365	100.0%	119

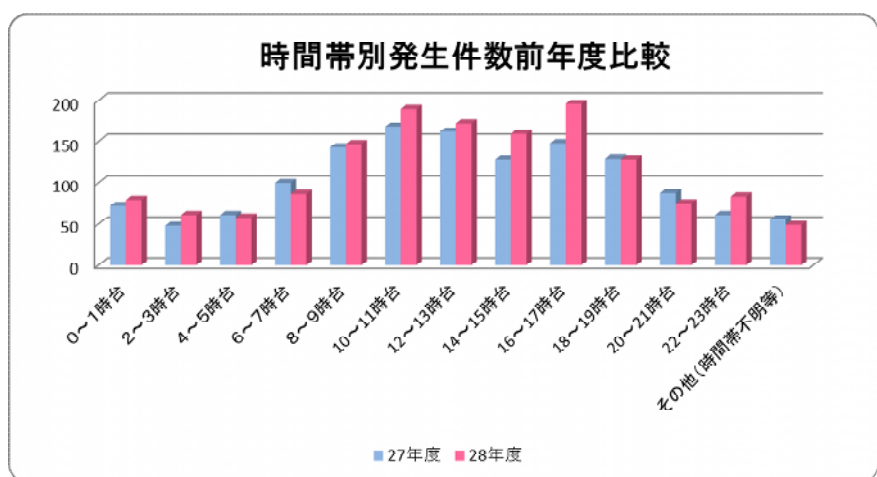


図3 発生時間帯別事故件数 前年度比較

次年度も引き続き命に関わる重大事故レベル4・5を起こさないように取り組んでいく。またヒヤリ・ハット事例医療事故報告のレベル0,1 報告を共有し対策を講じることで、レベル2 以上を減らすことに努力する。4 大事故対策の薬剤・ドレーンチューブ関連においては確認のルールの徹底、高齢者の入院が増加する背景においては、多職種協働で転倒転落対策強化を行っていく。そして医療安全醸成に向け医療安全研修・教育など医療の質につながるような企画を講じていく。

(3) クリニカルパス検討会議

平成 29 年度の電子カルテ導入に向けて、現行のクリニカルパスを抜本的に見直し、準備を進めた。

① 新規・修正パスの一覧

新規数：3 件

- ・ 膵臓癌化学療法
- ・ 人工股関節置換術
- ・ 軽症在宅加療

② 修正数：11 件

- ・ ペースメーカー新規植え込み
- ・ ペースメーカー電池交換
- ・ 前立腺針生検術
- ・ 腰麻ステント挿入・交換／逆行性腎盂尿管造影検査
- ・ 局麻ステント挿入・交換／逆行性腎盂尿管造影検査
- ・ TUR-P
- ・ 大腿骨頸部骨折
- ・ 抗悪性腫瘍剤静脈持続注入埋込カテーテル設置術（手術室）
- ・ 腎瘻増設術
- ・ 体外衝撃波結石破碎術
- ・ 慢性硬膜下血腫

平成28年度のクリニカルパス作成・使用実績

クリニカルパス（第1版及び第2版フォーマット）・使用実績

診療科名	名 称	平成27年度使用件数	平成28年度使用件数
1. 総合診療科	1) ラジオ波焼灼術・経皮エタノール注入療法 ・肝生検	10	19
	2) 上部消化管出血	0	
	3) 内視鏡下胃瘻造設・交換術	7	15
	4) 気管支鏡検査	8	
	5) 腹部血管造影・肝動脈化学塞栓術	24	21
	6) 待機の食道静脈瘤結紮術	3	8
	7) 大腸CT検査		
	8) 日帰り大腸内視鏡検査	4	
	9) 大腸内視鏡・粘膜切除術	221	195
	10) インターフェロン導入	0	
	11) 糖尿病2週間入院	4	3
	12) 糖尿病血糖調整	2	1
	13) 糖尿病3泊教育入院	1	
	14) 内視鏡的胃粘膜切除術・粘膜下層剥離術	19	51
	15) 内視鏡的逆行性胆管膵管造影	127	106
	16) 市中肺炎	0	
	17) がん化学療法共通	63	27
	18) 膵臓癌化学療法 FOLFIRINOX		6
	19) 総合診療科共通・短期延長	15	19
2. 循環器内科	1) ペースメーカー新規植え込み	23	34
	2) 心臓カテーテル検査	219	214
	3) ペースメーカー電池交換	4	15
	4) 経皮的冠動脈形成術（PCI）	86	78
	5) 心筋焼灼術（アブレーション）	1	
	6) 心不全（軽症・中等症・重症）	50	4
3. 小児科	1) 川崎病	0	
	2) 食物負荷試験	282	
	3) 正常新生児	86	60
	4) 小児科短期入院	51	30
4. 産婦人科	1) 産褥	143	106
	2) 帝王切開術	7	4
	3) 子宮内容除去術（静脈麻酔）	0	0
	4) 緊急帝王切開術	0	
5. 外科	1) 腹腔鏡下胆嚢摘出術	49	35
	2) 下肢静脈瘤手術		
	3) 大腸癌化学療法（FOLFIRI・FOLFIRI/BV・mFOLFOX6・ mFOLFOX/BV・sLV5FU2・sLV5FU2/BV）	125	103
	4) 成人鼠径ヘルニア根治術	86	68
	5) 自然気胸	9	4
	6) 胃がん（ユニットパス）	18	35
	7) 大腸がん（ユニットパス）	47	1
	8) 乳癌手術	15	20
	9) 虫垂炎	43	28
6. 整形外科	1) 抜釘術	55	45
	2) 脊髄造影検査入院	27	46
	3) 鎖骨骨折	10	10
	4) 大腿骨頸部骨折（CCHS・人工骨頭・ γネイルタイプ・CHS）	120	146
	5) 人工股関節置換術		0
	6) 人工膝関節置換術	26	41
	7) 関節リウマチに対するレミケード点滴 治療導入	0	0
	8) 腰椎手術	16	28
	9) アキレス腱縫合術		
	10) 足関節骨折	12	11
	11) 橈骨遠位端骨折に対する観血的整復固定術	11	17

7. 泌尿器科	1) 腰麻ステント交換	4	11
	2) 局麻ステント交換	62	69
	3) 前立腺生検術	90	95
	4) 前立腺全摘出術	9	3
	5) TUR-P	34	33
	6) 経尿道の膀胱手術	52	63
	7) 腎摘出術	5	2
	8) 体外衝撃波結石破砕術 (ESWL)	16	12
	9) 結石破砕術		16
	10) 延長シート	22	34
8. 脳神経外科	1) 慢性硬膜下血腫	20	21
	2) 脳血管撮影	7	5
	3) 脊髓腔造影 (脳神経外科用)	50	33
	4) 手根管症候群	24	14
	5) 足根管症候群	0	4
	6) 腰椎手術 (脳神経外科用)	48	53
	7) 頸椎手術		14
9. 眼科	7) 脳外科共通短期延長	17	18
	1) 白内障手術	132	128
10. 手術室	2) 硝子体手術	0	
	1) 白内障手術	131	129
	2) 前立腺針生検 (P-生検)	87	92
	3) 穿頭血腫除去術	8	
	4) 尿管ステント挿入術	70	
	5) 子宮内容除去術	0	
	6) 慢性硬膜下血腫	19	20
	7) 抗悪性腫瘍静脈注射持続カテーテル設置術手術用		5
	8) 腎瘻増設術 手術用		2
	9) CVポート増設術 手術用		1
11. 皮膚科	10) 対外衝撃波結石破砕術 手術用		7
	1) 帯状疱疹	22	16
12. 全科共通	1) オーバーナイト	31	47
	2) 軽症在宅加療		
小 計		3089	2601
診療科名	名 称	平成27年度使用件数	平成28年度使用件数
地域医療連携室	1) 大腿骨頸部骨折地域連携パス	6	54
	2) 神奈川県西部地域 脳卒中地域連携パス	26	22
	3) 神奈川 脳卒中地域連携パス		1
	4) 軽症在宅加療パス		8
小 計		25	85

(4) 救急災害医療対策室

救急医療の現状については、第3章患者の概況「救急患者取扱状況」を参照。
研修・訓練・協議会等の取組みは次のとおりです。

① 院内防災訓練

大規模地震の発生を想定したトリアージ訓練及び、実態に則した設定下での消防訓練を実施した。（平成28年4月1日～平成29年3月6日 計5回）

② 災害時派遣医療チーム（DMAT）活動

○ 大規模災害発生時の初動対応の実践訓練を目的とした「ビッグレスキューかながわ」に参加した。（平成28年9月11日）

○ 熊本地震災害に対する被災地域へ出動し、医療支援活動を行った。
（隊員内訳：医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務職1名の計5名）

①平成28年4月25日

・被災地到着。熊本市保健医療救護調整本部にて引継、情報収集を行った。

②平成28年4月26日

・京陵中学校他3か所の避難所を訪問して情報収集活動を行った。

③平成28年4月27日

・アクアドームくまもとで医療救護活動（20名診察）を行った。

④平成28年4月28日

・帯山西小学校で医療救護活動（3名診察）を行った。

○ 訓練・研修への参加

・DMATとして大規模地震（南海トラフ地震）発生を想定した広域医療搬送訓練に参加した。（平成28年8月6日）

・DMATとしての技能の維持・向上を目的とした、技能維持研修に参加した。
（平成28年6月14日～15日、平成29年3月9日～10日）

・統括DMATとして統括DMAT研修に参加した。（平成28年9月5日～6日）

・DMATとして自衛隊航空機を使用した航空機内活動研修に参加した。

（平成29年1月12日）

(5) 高齢者医療検討会議活動報告

① 高齢者医療検討会議

褥瘡対策・摂食嚥下対策・NST の活動を統合し、高齢者医療の充実を図るよう多方面からの検討を行ってきたが、各チームの活動が確立してきており、今後の本会議のありかたについて検討した。

今後は、形を変えて多職種が高齢者医療を考える機会とする会議とすることを決議した。

② 褥瘡対策チーム活動

各セクションの褥瘡予防対策の結果、全国一般病院の 2013 年褥瘡発生率 1.6% に比較し低値で経過している。今年度は褥瘡危険因子評価の共通理解に向けた取り組みを行い、得手体位の共通理解に繋がった。しかし、得手体位のある患者は、自らピローをはずし身体にズレを生じ褥瘡発生に繋がるケースが体動のない褥瘡発生患者より多い。来年度は座り心地や寝心地を踏まえたポジションの工夫を行っていく。

褥瘡関連データ

	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
褥瘡危険因子保有者数	2,070 名	2,004 名	2,090 名
褥瘡有病者数	164 名	176 名	202 名
院内発生	54 名	49 名	70 名
院外発生	111 名	129 名	134 名
入院数に対する褥瘡リスク保有者の割合	36.2%	32.8%	32.6%
入院数に対する褥瘡有病者の割合	2.9%	2.9%	3.2%
院内発生	1%	0.8%	1.1%
褥瘡ハイリスク患者ケア加算算定数	886 名	917 名	935 名

③ 栄養サポートチーム（NST : Nutrition Support Team）活動状況

（第 4 章 業務の状況 1 栄養管理科業務（2）参照）

④ 摂食嚥下チーム活動

28 年度は、NST(Nutrition Support Team)と摂食嚥下チームの合同回診となり、栄養問題と摂食・嚥下の問題をチーム医療で話し合うようになった。依頼内容からみて、職員の NST ならびに口腔や嚥下に関する意識は前年度よりも高くなってきた。リンクナース会議では、術後の食事開始に伴う誤嚥や窒息対策について検討し、食事開始の時期や内容の統一を図った。また、誤嚥予防の姿勢調整の演習を行うなど、スキルの向上に努めている。

摂食機能療法実施関連データ

	1A		2A		3A		4A		4B		5A		5B		合計		収益 (円)	1人当り平均 実施回数
	患者数	回数	患者数	回数	患者数	回数	患者数	回数	患者数	回数	患者数	回数	患者数	回数	患者数	回数		
H27年度 合計	0	0	61	532	7	84	54	584	7	55	88	1068	90	1315	307	3,638	6,730,300	11.9
月平均	0.0	0.0	5.1	44.3	0.6	7.0	4.5	48.7	0.6	4.6	7.3	89.0	7.5	109.6	25.6	303	560,858	11.9
H28.4	0	0	3	26	0	0	0	0	3	28	8	118	2	16	16	188	347,800	11.8
H28.5	0	0	3	14	0	0	0	0	5	61	5	50	2	13	15	138	255,300	9.2
H28.6	0	0	6	41	0	0	0	0	6	72	9	105	3	29	24	247	456,950	10.3
H28.7	0	0	4	36	0	0	0	0	3	41	3	8	1	1	11	86	159,100	7.8
H28.8	0	0	3	28	0	0	0	0	2	21	1	3	6	31	12	83	153,550	6.9
H28.9	0	0	1	9	0	0	0	0	0	0	2	25	4	77	7	111	205,350	15.9
H28.10	0	0	4	31	0	0	0	0	3	18	2	9	2	47	11	105	194,250	9.5
H28.11	0	0	1	7	0	0	0	0	3	42	3	53	2	10	9	112	207,200	12.4
H28.12	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14	4	17	1	12	6	43	79,550	7.2
H29.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	55	2	16	6	71	131,350	11.8
H29.2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	22	2	6	2	15	5	43	79,550	8.6
H29.3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	1	16	4	69	6	92	170,200	15.3
H28年度 累計	0	0	25	192	0	0	0	0	28	326	44	465	31	336	128	1,319	2,440,150	10.3
月平均	0	0	2.08	16	0	0	0	0	2.33	27.17	3.67	38.75	2.58	28	10.67	109.92	203,346	10.6

(6) ボランティア活動状況 (28.4月～29.3月)

月 / 日	活動日 月・水 13:00～16:00	ラン パス 会 員 数	活動内容	活動日 水 午前中	杉 の 子 会 員 数	活動内容	活動日 第4金 14:00～15:30	松 田 絵 手 紙 の 会 員 数	参加人数	活動日・月火水木金曜日 (回数)	受付 介 助 ボ ラ ン テ ィ ア	活動時間	活動日 月1回 13:00～ 15:30	音楽ボ ラン テ ィ ア 会	活動内容
4月	4,11,18,25	46	図書・病棟	6,12,20,27	11	ホース・ シーツ カット	8	3	2	20	40	5889	11	4	邦楽演奏
5月	2,9,16,23	46	図書・病棟	11,18,25	8	ホース・ シーツ カット	中止			19	38	5820	13	10	フルートアンサンブルコー ラス
6月	6,13,20,27	43	図書・病棟	1,8,15,22	11	ホース・ シーツ カット	10	5	1	22	42	6790	23	1	ピアノ独奏
7月	4,11,25	30	図書・病棟	6,13,20,26	10	ホース・ シーツ カット	8	3	4	21	39	5990	19	12	ミュージックベル
8月	1,8,29	31	図書・病棟	3,10,17,24,31	13	ホース・ シーツ カット	中止			21	35	5880	21	11	ハワイアンフラ
9月	5,12,26	34	図書・病棟	7,14,21,28	11	ホース・ シーツ カット	9	3	5	19	36	5830	26	17	合唱
10月	3,17,24,31	37	図書・病棟	5,12,19,26	12	ホースカット	14	4	1	20	37	5985	17	2	ピアノ・キーボード
11月	7,14,21,28	43	図書・病棟	2,9,16,30	11	ホースカット	11	3	4	19	38	5965	17	11	女声合唱
12月	5,12,19,23	38	図書・病棟	7,14,21	7	ホースカット	9	3	1	19	37	6110	23	41	クリスマスコンサート
1月	16,23,30	32	図書・病棟	11,18,25	7	ホースカット	13	2		19	36	5476	18	1	落語独演会
2月	6,13,20,27	47	図書・病棟	1,8,15,22	7	ズボンカット				データなし			22	13	女声合唱
3月	6,13,27	25	図書・病棟	1,15,22,22	7	ズボンカット	11	3	1	データなし			27	2	ソプラノ独唱
計		452			115			29	19	199	378	59735	237	125	

(7) 臨床病理検討会 (C P C)

第58回 CPC 平成29年2月21日 15時30分より 研修室Ⅱ
内科 羽尾 義輝 先生 研修医 野村 朋子 先生
「確定診断に至らず急速な転帰を辿った多発肝腫瘍の一例」

出席者 26名

(8) 糖尿病対策会議

糖尿病医療の充実および、地域医療連携による地域糖尿病患者の合併症発症予防と悪化防止・QOLの維持向上の推進を図る目的で糖尿病療養指導に関する院内研修の計画・実施を行っている。

平成 28 年度の活動実績

1. 平成 28 年 11 月に地域と共催し山北町保健福祉センターを会場に住民参加型糖尿病予防啓発イベント「糖尿病フェスタ」を開催した。
また、病院主催の公開医療講座として年間 6 回の「糖尿病公開講座」を行った。

回	月 日	講 師	テーマ	参加人数
第 1 回	5 月 26 日 (木) 17:00~18:00	内科医師	糖尿病総論 「糖尿病と合併症」	30 名
第 2 回	7 月 28 日 (木) 17:00~18:00	内科医師 臨床心理士	糖尿病と認知症の深い関係	43 名
第 3 回	9 月 29 日 (木) 17:00~18:00	理学療法士 日本糖尿病療養指導士	運動療法 フットケア	18 名
第 4 回 (山北町共催) 山北町健康 福祉センター	11 月 12 日 (土) 糖尿病フェスタ 13:00~16:00	管理栄養士 コメディカル	調理実習・栄養指導 体験コーナー	42 名
第 5 回	1 月 26 日 (木) 17:00~18:00	薬剤師	薬物療法	14 名
第 6 回	2 月 23 日 (木) 17:00~18:00	佐藤内科医院 院長 佐藤弘樹医師 (足柄上医師会)	「そこが知りたい！ 糖尿病」	35 名

2. 外来通院患者の血糖測定器の機種変更を行った。
3. 糖尿病療養指導に関する院内研修としてスタッフ向け糖尿病勉強会を年間 4 回実施した。

回	月 日	テーマ	講師	参加人数
1 回	6 月 10 日 (金)	糖尿病概論・合併症について	青木医師 宇野医師	24 名
2 回	7 月 8 日 (金)	認知機能低下に伴う糖尿病患者のケア	糖尿病認定看護師 大澤	19 名
3 回	9 月 2 日 (金)	糖尿病の検査と治療	大上医師 高橋医師	20 名
4 回	3 月 10 日 (金)	糖尿病とコメディカル 「心との関係 薬物療法食事療法」	臨床心理士 大島 薬剤師 菊池 管理栄養士 岩佐	17 名

(9) 平成28年度 「医学講座」・「出前講座」

医学講座・出前講座企画運営会議

平成28年度 地域住民対象「医学講座」「出前講座」開催実績

回	日 時	テーマ	講 師	会 場	対 象	参加者数
医学 第26回	7月2日（土） 14：00～16：00	「がん検診～現状と課題」	①足柄上病院 外科医長 松浦 仁 ②足柄上病院 呼吸器内科部長 尾下文浩 ③足柄上病院 消化器内科医師 松林真央	山北町 健康福祉センター 2階会議室	市民・町民	32名
医学 第27回	2月4日（土） 14：00～16：00	「動脈硬化」	①足柄上病院 循環器内科部長 常松 尚志 ②岡部医院（開成町） 院長 岡部 元彦 ③足柄上病院 呼吸器内科部長 尾下 文浩	松田町立公民館 展示ホール	市民・町民	46名
未病 講座 （臨時）	2月1日（水） 14：00～16：00	「ロコモ～歩けなくなる前に 予防と治療を～」	①足柄上病院 副院長 牧田 浩行 ②足柄上病院 整形外科医長 中村 祐之 ③松田町子育て健康課	松田町 健康福祉センター	市民・町民	18名
出前 第1回	6月9日（木） 15：00～16：30	「今、医療の世界では」	病院長 玉井 拙夫	南足柄市役所	足柄上地区学校保健会 理事会	15名
出前 第2回	6月18日（土） 9：15～10：00	「姿勢」	整形外科医長 中村 祐之	井ノ口小学校	1～6年生の生徒 その保護者 教職員	400名
出前 第3回	6月28日（火） 10：00～11：30	「救命の講習」	救急看護認定看護師 生田 正美	南足柄市こどもセンター	0～3歳児のお母さん達	16名
出前 第4回	7月22日（金） 13：30～15：00	「下肢」	整形外科医長 田中 堅一郎	中井町保健福祉センター	健康普及員OB	43名
出前 第5回	7月28日（木） 13：30～15：00	生活習慣病 「脳血管疾患」	副院長 加藤 佳央	南足柄市 保健センター	健康サポート員	20名
出前 第6回	10月18日（火） 14：00～15：00	「体に良い食事」	栄養管理科長 杉野 万紀	県立山北高等学校	保健委員	25名
出前 第7回	10月24日（月） 13：45～15：00	「生活習慣病を予防するた めに、今からできること ～医師から聞く健康でいるこ との秘訣とは～」	病院長 玉井 拙夫	開成町保健センター	健康診断結果配布町民	130名
出前 第8回	11月14日（月） 13：30～15：00	「糖尿病」	消化器内科医師 柳橋 崇史	開成町保健センター	糖尿病の方 健診で新たに糖尿病と診断 された方	26名
出前 第9回	11月21日（月） 10：30～12：00	「更年期」	3A看護科長 IBCLC 佐藤良枝	開成町保健センター	健康相談員	12名
出前 第10回	2月15日（水） 9：30～11：30	「姿勢」	整形外科担当部長 田中 堅一郎	南足柄市りんどう会館	学童保育の先生方	24名